



東京都議会 平成25年 第4回定例会特集 (11月29日～12月13日)

都議会公明党  
〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1  
TEL 03-5320-7250

東京都議会の第4回定例会(11月29日～12月13日)で都議会公明党は、台風26号による甚大な被害を出した伊豆大島の復旧・復興支援や、東北の被災地支援の継続、さらに防災対策、教育、福祉、中小企業支援などの分野で積極的に議論を展開しました。ここでは代表および一般質問で推進した主な政策を紹介します。

# 防災・福祉・中小企業支援など前へ

## 伊豆大島の復旧・復興に全力

### …… 代表質問 ……

#### 知事の5千万円疑惑

##### 総務委員会で一問一答の追及

年の瀬の厳しい資金繰りの中小・零細企業者の中には、5千万円もの大金を無利子・無担保・無保証・無期限で借りたとする猪瀬知事に怒りが渦まいています。副知事時代に医療行政に熱心だった知事が、徳洲会の都内の病院や老人施設について、知らなかったでは済まされません。都議会公明党は、質疑の形式が一方的な本会議では、事実が明らかにならないため、総務委員会に移して、一問一答で知事をただしていくと主張しました。



#### 伊豆大島の復旧・復興

##### 町と連携し、全庁挙げて支援



伊豆大島の復旧・復興への課題は膨大で、大島町だけでは到底対応できません。都は全庁を挙げて取り組みます。また、家族を失った人や、児童・生徒など被災者の心のケアについても、町と連携して積極的に支援します。

#### 河川の豪雨対策

##### 調節池の整備で備える

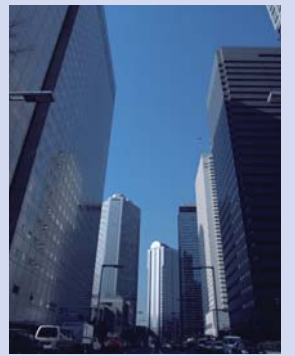
頻発する集中豪雨への対応を図るため、中小河川の整備水準を引き上げました。今後、新たな調節池の設置を検討するとともに、既存の調節池の容量を相互に活用する「広域調節池」の整備を検討しています。



#### 耐震診断の助成延長

##### 緊急輸送道路沿いの建築物を診断へ

都内での震災被害の拡大を抑制するためには、特定緊急輸送道路に面する建物の耐震化を、一日も早く実現しなくてはなりません。現在、7割を超える建築物について診断が実施されています。残り3割の耐震化に向け、今年度までとしていた診断の助成期限を来年度まで延長し、全ての特定沿道建築物の診断を完了させる方針です。



#### 大震災の被災地支援

##### 避難者の意向を把握して現地と連携

都が2月に実施したアンケートでは、都内に定住希望者が44%で、帰還時期が決められない避難者が32%となっています。こうした方々の意向をより詳細に把握した上で、避難元の自治体と連携して支援策を検討していきます。



##### 応援ツアーの継続を検討



平成23年9月より実施している被災地応援ツアーを、今年度は2万泊分と、日帰り1万5千人分について助成し、観光振興に貢献してきました。今後も、福島県の観光の状況を踏まえ検討していきます。

##### 水産物の安全性を確認する研修会

これまで、青果物の消費者団体向けの被災地支援研修会を福島県で開催し、風評被害の払拭に取り組んできましたが、今後、水産物についても消費者が直接、現地の安全対策を視察する機会を検討するなど、風評被害の払拭に向け取り組みます。

##### 避難者の意向を把握して現地と連携

東京都交響楽団は、2011年度から復興コンサートや学校での子どもの演奏体験事業などを被災地で行っています。都響はさらに、7年後のオリンピックで、大きな役割を果たせるよう、国際的に評価されるクオリティの高い演奏活動を展開していきます。

